

科 目 名	小 児 科 学【理学・作業】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	久 田 直 樹						
開 講 年 次	2	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	小児期の特徴である正常な成長発達を理解した上で、胎児期から新生児期に起こる異常（先天異常）の病態を知る。代謝、アレルギー、免疫疾患の小児期の特徴（病態）を学ぶ。臓器別にとりあげる疾患でも小児に特徴的な疾患に関して成人と比較して学ぶ。また感染症では小児期に多い疾患に注目して症状と治療法を学ぶとともに予防についても理解する。神経・筋、精神疾患については診断、治療とともに治療の一環としてのリハの関わり方についても学ぶ。						
授 業 の 到 達 目 標	新生児から思春期に見られる子どもの特性、とくに生理的な成長・発達について理解する。また病的状態な状態については、代表的な疾患について病態生理（症状）を成人と比較し理解を深め、リハを行う上で役立てる						
学 習 方 法	講義・ビデオ視聴						
テキスト及び参考書等	最新育児小児科学 改訂6版 著者：黒田 泰弘 出版：南江堂 3,990円						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	◎			80		
小テスト等	○	○			10		
宿題・授業外レポート							
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度			○		10		
その他							
合 計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	小児の成長と発達Ⅰ						
第 2 週	小児の成長と発達Ⅱ、保健						
第 3 週	先天異常						
第 4 週	代謝異常						
第 5 週	内分泌異常						
第 6 週	免疫・アレルギー疾患						
第 7 週	自己炎症性疾患						
第 8 週	感染症						
第 9 週	血液・腫瘍性疾患						
第 10 週	循環器・消化器疾患						
第 11 週	腎疾患						
第 12 週	神経・けいれん性疾患						
第 13 週	運動器疾患・フロッピーインファント						
第 14 週	発達障害						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	講義順は変更することあり。						